



令和5年度10月号

一中の風

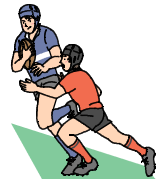
No. 6

小金井市立小金井第一中学校 学校だより

真のチームプレー

校長 門脇 利種

皆さんは学級の係活動やサッカー・野球・バスケットボールその他など、部活動のチームで頑張っている人がたくさんいると思います。どのようにすれば、係やチーム、その部がもっと良くなるのか、強くなれるのか。また、逆にどうもチームがよくまとまらない。バラバラな感じがする。みんなが自分勝手にやっているような気がする。このようなことを感じたり、経験したりしたことがあるのではないのでしょうか。そのようなときに、問題や課題を解決するためにヒントとなる言葉を紹介したいと思います。元ラグビー日本代表の松尾雄治選手の「一人ひとりが自分の仕事をきちんとこなすこと。この個人プレーの連携が、真のチームプレーなのだ」です。ラグビーと言うと、今年パリで行われたラグビーワールドカップで、惜しくもベスト8にはたどり着けませんでしたでしたが世界の強豪国相手に健闘したことを知っている人も多いと思います。



ラグビーは楕円形の細長いボールを使って、体の大きな頑丈な選手や小さな選手がいろいろと入り混じり、手でパスをしながら、相手の陣地に攻め込んでいく競技です。

松尾選手が活躍したころ、ラグビーに関心がある人はあまり多くなく、時々テレビで放映される程度でした。松尾選手は、お父さんがラグビーをやっていたこともあり、小学生のころからラグビーを始め、中学校、高校、大学と続けました。卒業後は、新日鉄釜石という会社に入社し、1979年から選手、キャプテン、監督兼選手として、日本選手権7連覇達成という大記録を打ち立てた原動力となった人です。

ラグビーは、15人の選手がチームプレーで一つのボールを相手の陣地まで持っていくスポーツです。自分のチームのボールを持っている人の動き・判断も重要ですが、相手の選手に邪魔されないように走ってボールを受けるかが、とても大切になります。その時に必要なのは、自分のやるべきことはどういうことなのか、今できる自分の仕事は何なのかを考えて行動すること。それには、相手の選手が来ないようにする場合もあります。また、受け取ったボールを相手の選手がいないほうの味方にパスすること。自分でボールを持って走ること。それを自分のチームの選手と気持ちを一つにして、とにかく、ボールを相手の陣地にどう持っていくことができるかです。

自分のチームが勝つためには、一人一人の選手が、自分のできることをきちんと行うこと。そして、この一人一人のプレーが繋がった時に、本当のチームとしての強さが出るのだと思います。この気持ちがあったからこそ、新日鉄釜石というチームは7年間も日本選手権を連続して勝ち取ったのだと思います。

皆さんも、学級の係や学校の委員会、部活動などでいろいろな人と協力して仕事をすることがあると思います。その時に一人一人が自分で考えて、今自分でやらなければならない自分の仕事をきちんと行うこと。それが係やチーム全体の力をつけていい仕事が出来たり、チームが強くなったりする秘訣のようです。

ぜひ、松尾選手の言葉「一人ひとりが自分の仕事をきちんとこなすこと。この個人プレーの連携が、真のチームプレーなのだ」を思い出して行動してみてください。

1 年校外学習 10月6日(金)



秋晴れの天気のもと、第1学年は校外学習として、東京浅草・上野・押上方面を巡りました。「東京の文化を守るーる #責任と協力のリズム」をスローガンとし、各班で行動計画をたて、時間やルールを守って行動し、東京の伝統文化を体験しました。昼食場所が混雑しており、急きょ変更した班、迷ってしまい、体験場所に予定通りつかなかった班も…。

今回の経験の中で、「何を優先すべきか」、「どのような判断・決断をすればよいか」を感じ取り、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。(第1学年主任 関)

2 年移動教室 in 長野 9月28日(木)~30日(土)



山の移動教室。その名の通り1日目は長野県八島湿原のハイキングに始まり、車山の山頂を目指しました。朝に少し雨が降ったこともあり、湿原から車山までの道のりは多少ぬかるんでいるところもありましたが、車山の山頂の見晴らしのよさは抜群で、生徒たちは素晴らしい景色の中、軽登山を楽しみました。2日目は鷹山ファミリー牧場での農場体験と牧場の酪農体験です。農業体験では畑に黒色ビニール(マルチシート)をかけ、そこに苗を植えていきます。酪農体験では牛にブラッシングや乳しぼりなど貴重な体験をしました。また食材として「命をいただく」ことに感謝しつつ、BBQをしました。3日目は班行動です。それぞれにものづくり体験を経験しつつ、長野県諏訪の文化と自然を満喫しました。(第2学年移動教室担当 村島)

3年修学旅行 in 奈良・京都 10月8日(日)～10日(火)



今回の修学旅行では、生徒の皆さんは集団行動の大切さについて改めて学ぶことができたと思います。時間やルールを守ったり、班員とはぐれずに行動したりすることは、簡単なことではありませんでした。しかし、それが出来た時の達成感は想像以上のものでした。

1日目、小雨の中、法隆寺の見学。そして興福寺国宝館や、奈良公園の散策。鹿と戯れているとあっという間に時間が過ぎてしまった班も少なくありませんでした。

2日目、最も準備に時間をかけた班行動。1日目の行動が予定通りにならなかった班は特に気を付けて京都をまわりました。また、夜は宿舎で雅楽体験。終わった後は、みんな口で筆築(ひちりき)の音を真似してしまうほど魅了されていました。

3日目、タクシー行動。運転手さんによる解説で、より京都に詳しくなることができました。

あっという間に過ぎた3日間でしたが、修学旅行は期間が終わっても続いていると私は思っています。今回の経験を、学校生活にも活かす。深められた友情でふしがね祭や受験に挑む。

これが大切なことです。修学旅行は終了していない！！(第3学年主任 塩出)

G組マラソン大会 in 小金井公園 10月5日(木)



秋空の下、開催された多摩地区特別支援教育研究会が主催するマラソン大会。生徒たちは、この日のために、日頃から懸命に練習を重ねてきました。日を追うごとに、自分のペースをつかみ、体力も向上し、本番ではたくさんの生徒が自己ベストを更新することができました。

(G組主任 山積)



活躍する一中生!



卓球部 9/17(日) 小金井市民大会
 <男子> 優勝
 準優勝
 第3位(ベスト4)
 <女子> 優勝
 準優勝
 第3位(ベスト4)

サッカー部 東京都中学校サッカー新人大会
 第10支部予選
 予選 対 小平五中 2-2
 対 立川七中 9-0
 対 昭和中 0-2
 決勝トーナメント1回戦
 対 清泉中 1-3